

[JPACP2025-046] 認定心理士の会 中国・四国支部公開セミナー「犯罪に向き合う心理学 —『未然防止』の環境づくりと『聴取』の科学—」(2/22)

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2025/12/JPACP2025-046.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
認定心理士の会 中国・四国支部公開セミナー
「犯罪に向き合う心理学 —『未然防止』の環境づくりと『聴取』の科学—」
https://psych.or.jp/authorization/260222_chushikoku/
◆-----◆

日時：2026年2月22日（日）13:30-15:30

対面・オンライン併用（ハイブリッド）開催

【対面（オフライン）】

会場：県立広島大学 広島キャンパス 1175 講義室

〒734-8558 広島市南区宇品東1丁目1-71

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/access.html>

参加資格：どなたでもご参加いただけます（定員 70 名；事前申し込み）

【オンライン】

会場：ZOOM（パソコンのみの簡易機材による配信）

参加資格：どなたでもご参加いただけます（定員 500 名；事前申し込み）

なお、配信の品質は保証できません。音声や映像に不具合が生じる場合があることを予めご了承ください。

※講師への質疑は会場が中心です。対面会場でのご参加を歓迎いたします。

概要：本企画では、犯罪に心理学の視点から向き合うためのヒントを、二つの切り口でわかりやすくご紹介します。
ひとつは、店舗・地域における万引き等を未然に防ぐための「環境づくり」。
もうひとつは、事案発生後に、司法面接や取調べなどの場面で事実に近い情報を引き出す「聴取」の要点です。
日常の防犯から司法・捜査の現場までをつなぐ視点から、安心・安全な社会づくりに心理学がどのように貢献しうるかを、具体例を交えてお伝えします。

講師・演題：

犯罪を未然に防止する環境づくり—「人の目」をどのように作るか—

講師：大久保 智生 先生（香川大学教育学部）

犯罪者は人の目を嫌います。ただ、この「人の目」はポスターに描かれた目ではありません。

犯罪は起きやすい場所が確実にあり、そうした場所の防犯カメラは実は犯罪の未然防止に十分とは限りません。

犯罪を未然に防ぐには、むしろ犯罪が起きやすい場所に

「人の目」をつくっていくことが重要です。

本講演では、万引きや地域の防犯活動の実践を踏まえ、

